

「図書室改造・改善」のお手伝いby情報館

「平成28年度子ども読書推進・学校図書館支援事業のご案内（詳細版）」（6・1）で情報館がお手伝いできそうなことをお知らせしました。案内の（6）には、下記のように書いてあります。

（6）学校図書館なんでも相談

学校図書館運営上の悩み・困りごとなど、なんでもお話を伺います。例えば、書室のレイアウト、資料購入について、読書週間等の行事や図書委員会活動へのアドバイス等、お電話ください。

☆一人で悩まず気軽に相談して悩みを解決しましょう。

夏休み中に、川治小学校から、図書室の改造・改善へのアドバイスの依頼がありました。下の写真にあるように、情報館から職員が学校にうかがい、直接アドバイスして欲しい内容を伝えてもらいました。

- ・きちんとした分類ができていないので使いにくい。使いやすい分類をしたい。
- ・図書室内のレイアウトを刷新したい。

ということでした。

川治小学校では、昨年からは図書室の整備にとりかかり、昨年度は古い本をかなり廃棄して図書室をスッキリさせたそうです。確かに、1年前の写真と見比べると、本の量は減っていました。図書館整備について発言している著名人の赤木かん子さんも

「古い本は捨てた方がいい。子どもが読まない本があっても意味がない。」

と言っています。川治小学校では、まずその第一歩を踏み出していました。その上でどうしていくか…ということで、話し合いながら次のアドバイスをしました。

- ①分類は日本十進分類法に沿って分類する。
- ②ラベルの色で分かるようにシールの活用をする。
- ③レイアウト…子どもたちがよく借りる本（絵本等）は、入口近くに置く。
 - ・基本は0から順に流れるように配置する。
 - ・新着本・テーマ本などは別のコーナーに置く。
 - ・書架の配置を工夫して、畳の部分も見渡せるようにする。

22日（月）には、職員作業で、一気に整備を行うそうなので、情報館からもお手伝いに行きたいと考えています。



夏休みになり、多くの子ども達が情報館を利用しています。また、各分室の利用も延びている所がおいです。

暑い日々、家の中でゲームばかりするよりも「本に親しむ姿」が増えるといいですね。

情報館では、たくさん本が子どもたちを待っています。